

子どもと一緒に

# 「1日20分読書」運動



～心に残る1冊の本との出会い～



## 「1日20分読書」 運動って何？

「1日20分読書」運動とは、全ての子どもが1日に少なくとも20分程度の時間を読書に親しみましょうという取組です。

県教育委員会では、「第4次鹿児島県子ども読書活動推進計画」を作成し、下の図のように、乳幼児から高校生までの時期に応じた「1日20分読書」運動を通して「心に残る1冊の本」と出会えるよう、読書活動を推進していくこととしています。

日常生活の中で、いつも身近に1冊の本がある環境を作り、家族で読書の時間を楽しみましょう。

## 乳幼児から高校生までの時期に応じた「1日20分読書」運動

「心に残る1冊の本との出会い」は、心を豊かにするだけでなく夢や人生の指針を与えてくれるきっかけにもなります。



(乳幼児期)

絵本や物語を  
読んでもらって

絵本や物語を読んでもらうことで出会おう。

(小学生期)

読書の幅を  
広げて

多くの本を読み、読書の幅を広げることで出会おう。

(中学生期)

共感・感動を  
広げて

内容に共感・感動したり、将来を考えたりしながら読むことで出会おう。

(高校生期)

知的興味に  
応じて

知的興味に応じて一層幅広く読書をすることで出会おう。



子ども同士で本を薦め合うなど、子ども同士で行う活動

※家庭でも子どもと一緒に楽しく読書活動に取り組みましょう

家庭や学校、地域で目標を決めて「1日20分読書」運動に取り組みましょう。

(例：「日曜日の夕食後は、家族みんなで読書をする」「様々なジャンルの本を読む」など)

# 家族で読書の時間を楽しみましょう



## 図書館・室へ出かけよう

県内の図書館・室は、子どもの読書活動を推進するため様々な取組を行っています。

例えば…

- 読み聞かせ会や読書まつり等のイベントの開催

## いつも身近に1冊の本がある環境を作ろう



例えば…

- 保護者が積極的に本に親しみ、家族で本を読む習慣を持ちましょう。
- 読みきかせをしたり、家族で好きな本について話し合ったりしましょう。

## 家族でやってみよう！ペア読書



ペア読書とは、二人で一冊の本を読み、感想や意見を交換する読書活動です。同じ一冊の本でも読む人それぞれの感性や視点を感じることができ、会話が広がります。家族の絆も深められますよ。

## 図書館・室の情報を活用しましょう

県立図書館、奄美図書館のホームページには、子ども読書活動に関する情報が満載！です。こちらからどうぞ…

また、お住まいの市町村図書館・室のホームページや広報誌等もぜひ、ご覧ください。



## ○ 毎月23日は「子どもとっしょに読書の日」

これは県図書館協会が推進している取組です。この日の前後には、県内各地の図書館・室で、様々な読書活動が行われていますので、家族で図書館・室に行ってみましょう。